

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	パスポート交付事業				②事業番号	3104	
③事業類型	1. 法上(必須)事業			④開始年度	平成 29 年度	⑤終了予定年度	年度 設定なし
⑥根拠法令等	<input type="radio"/> 法令	<input type="radio"/> 条例	<input type="checkbox"/> 規則	<input type="checkbox"/> 要綱	<input type="checkbox"/> 計画等	<input type="checkbox"/> その他	法令等の名称 大阪府旅券法関係事務に係る事務処理の特例に関する条例
⑦実施手法	<input type="radio"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="radio"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> その他		
⑧関連予算科目コード	款	2	項	3	目	1	細目 5
⑨担当部名	市民生活環境部		⑩担当課名	市民課		会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

[1]事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
①住所を有する市民及び居所を有する他市町村の市民	①人口数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
旅券法の一部の改正により、大阪府では順次市町村への旅券事務の権限移譲がなされた。泉南市では平成29年10月から旅券申請・交付事務を行っている。 泉南市に住所がある方・居所のある方を対象に旅券申請を受け、審査後大阪府パスポートセンターへ送付し、作成された旅券を交付している。 申請・交付を行う場所：泉南市役所 市民課窓口 申請日：月～金 9:00～16:30 交付日：月～金 9:00～17:30 土・日・祝休日・年末年始(12/29～1/3)除く	①申請件数 ②交付件数 ③	件 件
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
旅券申請交付に関する事務について正確かつ迅速に対応を受け、旅券の交付の確実に受けられることに市民の利便性が向上。	① 確実に処理した割合 計算式 処理件数÷申請件数 ② パスポート交付率(単年) 計算式 交付件数÷人口数 ③ 計算式	% %
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市で旅券申請・交付が受けられることにより市民満足度が増加。	政策(章) 6: みんなでまちづくりに取り組むまち 施策大(節) 2: 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします 施策中 1: 行政経営の高度化 施策小 4: 高い市民満足度が得られるサービスの推進	

[2]各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	人口数	人	61,984	61,457	60,795	60,795	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	申請件数	件	1,544	1,668	179	179	—	
活動指標②	交付件数	件	1,443	1,764	245	245	—	令和2年より新型コロナウイルスの世界的感染拡大の為、国外への出入国が法により制限され、パスポート申請数が激減した。
活動指標③								
成果指標①	確実に処理した割合	%	100	100	100	100	100	
成果指標②	パスポート交付率(単年)	%	2.3%	2.9%	0.4%	0.4%	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.75	0.75	0.65	0.64		
	任期付職員	人	0.90	0.90	0.42	0.90		令和2年より新型コロナウイルスの世界的感染拡大の為、国外への出入国が法により制限され、パスポート申請数が激減し、直接事業費も減少した。
	臨時職員	人	1.00	1.00	0.42	0.84		
	事業費							
	人件費(投入人員*単価)	千円	10,696	10,519	6,979	9,102		
	直接事業費	千円	18,663	22,155	3,606	3,606		
	総事業費	千円	29,359	32,674	10,585	12,708		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	1,617	1,935	276	276		
	受益者負担金	千円	19,430	21,227	2,950	2,950		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	8,312	9,512	7,359	9,482		

[3]事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	旅券法の一部の改正する法律施行により、大阪府旅券法関係事務処理の特例に関する条例(平成24年3月)以降、順次市町村への旅券事務の権限移譲がなされた。泉南市においては平成29年10月から一般旅券申請・交付事務を行っている。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	泉南市民が、パスポート申請・交付するにあたっては、大阪府パスポートセンター等に申請・交付場所が遠く、居住地で申請することにより、気軽にパスポート申請・交付が行えるようになり市民の利便性が向上する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	市ホームページ、広報紙等で定期的な周知活動を行う。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い	[1]の評価	A
評価項目	評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	外務省が決定した、単価等なので他と比較できない。		

[2]有効性		A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	適正に管理し、公証しており、市民満足度は向上されている。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	公共機関等パスポート申請の広報は行っている。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	類似する事業がない		

[3]効率性		A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い	[3]の評価	B
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	パスポート窓口業務でも確認事項が増加し、厳密な審査が必要であり、現在も最小限にコスト削減しており、これ以上の削減は難しい。		

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	C	<p>新型コロナウイルス感染症による海外渡航自粛により、令和2年度の申請は前年までと比べ大幅減となった。今後もウイルス感染が終息せず、申請者数の伸びが見込めない場合は広域化等運用見直しの検討が必要。</p> <p>A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少くあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要</p>

5. 改革、改善案【ACTION】

<p><今後の方向性></p> <p>ア</p> <p>ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止</p> <p>↓ ↓ ↓</p> <p>(___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)</p>	
<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>	
①改革、改善の具体案、実施年度など	令和3年度はウイルス感染症終息の動向を見据えながら当面どおりの運用を継続するが、申請者数の伸びが見込めない場合に備え、運用の見直しを準備しておく必要がある。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	他市での広域化を実施した場合は市民の利便性が失われる点が最大の課題となる。